



故運輸技官田邨賢治外一名
敘勲の件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和二十一年十二月二十七日

内閣總理大臣 吉田 茂



六

内

閣

内閣人運勲第三五號

一八八

昭和二十一年十二月二十七日

内閣書記官長
内閣副書記官長

内閣事務官

昭和廿一年十二月廿七日

昭和廿一年三月廿七日傳達

昭和廿一年十二月廿七日

魚尾伝達

内閣總理大臣

賞勳局總裁



故運輸技官勲八等田邨賢治外一名ハ
叙勲以來常ニ職務ニ精勵シ勲勞尠カラ
ス孰モ運輸事業ニ效セル功績顯著者ニ
候處左記各頭書ノ日ニ死去セル趣ニ付此際
特ニ死亡同日附ヲ以テ頭書ノ通叙勲セラレ度
此段允裁ヲ仰ク

昭和二十一年十二月二十九日

敍勲七等授瑞寶章 運輸技官勲八等田邨賢治

昭和二十一年十一月三十日

同

同

同

横井信造

運輸技官勲八等田邨賢治儀十一月二十九日死去致候處同人ハ出身以來在官中常ニ職務ニ精勵シ勲勞不尠其ノ成績顯著ナル者ニ有之候條特ニ生前ノ日附ヲ以テ勲七等ニ敍シ瑞寶章ヲ賜リ度履歷書ヲ具シ及上奏候

昭和二十一年十二月二十三日

運輸大臣 平塚 常次郎



局 總 道 鐵

功 績 調 書

運輸技官勲八等 田 邨 賢 治

右は明治四十四年十一月直江津機關庫機關夫として出身以來資性
 温厚勤勉で機關夫、火夫見習、機關手見習、機關手と累進し大正
 十二年十二月十六日鐵道局技手に任官以來直江津機關庫機關手、
 直江津機關庫機關車検査掛、直江津機關庫助役と歴任し昭和十六
 年八月九日勲八等瑞寶章を授けられ爾來直江津機關庫助役として
 今日に至り多年列車運轉業務に従事し上司の信望厚く部下を遇す
 るに父子の情愛をもつて指導し國鐵輸送に貢献したその功績は偉
 大なものであつた。
 同人は直江津機關庫區検査掛に在職中機關庫故障發見十八回に及び
 不測の運轉事故發生を未然に防止し鐵道局長からの表彰を受けた
 ること三回に及びしかも戦時下及終戦後の混亂狀況下に於てもよ
 く輸送業務に盡瘁し豫期以上の成果を擧げた功績は特に顯著なも
 のである。

のうある。
 う續多業、盡奉じ、新服以土の如果も奉り、大抵歸け、計り、賜答をよ
 る。う三回、又、心じ、衣と、輝和、下、又、絲、輝、給の、賜、賜、知、民、下、又、心、う、よ、よ
 不、賜の、雲、轉、事、始、發、主、も、未、幾、又、出、土、じ、賜、重、同、是、心、さの、奏、譯、も、受、り、大
 同人が、直、正、事、謝、關、圖、劍、查、慥、の、主、卿、中、謝、關、車、始、朝、發、長、十八、回、又、心
 大、さ、の、う、あ、く、大。
 る、父、子、の、計、受、も、と、て、計、奉、じ、國、應、辦、多、の、貢、糧、じ、大、さ、の、世、歸、が、事
 今日、又、至、り、冬、平、民、車、雲、轉、業、終、の、終、事、じ、土、同、の、計、望、畢、く、招、下、も、數、を
 平、八、月、六、日、臨、八、華、館、寶、章、も、受、り、と、休、爾、來、直、正、事、謝、關、圖、也、對、う、じ、
 直、正、事、謝、關、車、謝、關、車、劍、查、慥、直、正、事、謝、關、車、也、對、う、獨、王、じ、即、味、十六
 十二、平、十二、月、十六、日、賜、重、同、好、年、の、計、百、以來、直、正、事、謝、關、車、謝、關、車、
 賜、重、同、好、年、謝、關、夫、火、夫、良、賢、謝、關、年、良、賢、謝、關、年、う、累、並、じ、大、五
 否、が、即、計、四、十四、平、十一、月、直、正、事、謝、關、車、謝、關、夫、う、じ、出、良、以來、資、封

靈神好百煉入等田神寶治

良齋藏書

動等一定限

七

六年ノ二月
五分ノ一八
瑞九二三二一假記

故運輸技官

八

二 紉

田邨賢治

	七	六年ノ二 五分一八	月年	瑞九二三一二假記	故運輸技官	八	級二	田邨賢治
--	---	--------------	----	----------	-------	---	----	------

履 歴 書

運輸技官 契等田

郎

賢

治

明治三十八年九月二十七日 日生

瑞第九二三二(假記)

族 籍

現 住 所

新潟鉄道局

年 號

月 日

任

免

賞

罰

等

資 格

在 職 年 數

通

算

明治三十八年九月二十七日

機務大工命ス

直津橋関庫在勤

〃

〃

日給金三銭ヲ給ス

明治三十八年八月

雇ヲ命ス

〃

〃

日給金三銭ヲ給ス

〃

〃

中管局勤務ヲ命ス

〃

〃

大工ヲ命ス

長野県物産事務所勤務ヲ命ス

運輸技官 契等田

直
江津樓
漢庫托勤

宣統三年壬寅六月任鐵道局技師給俸卅圓

名古屋鐵道局勤務 7月2

江津松溪庫
松溪手之印

昭和九年八月五日直江津松尾助役ノ命

十一年九月一日
 富新改正
 新潟鐵道局勤務先

〆
十一年八月九日
叙勲等授瑞宝章章(定例)

壬午年五月一日
官制
鐵道官補

文
年十月一日
官制
正
運輸通院
有上九

九年六月辛酉 飭一級俸

二月十五日 叙敘七位

〆二十年五月九日
 官制改正
 運輸省上ナレ

壬午年四月一日
執令九一早九三早二候
是時事務官三級一四五用先

履歷書

年 月 日生

族
籍

現住所

[illegible]

昭和二十七年
一
給二十號序

土
元
陞
敘
二
級

二十張俸下賜

融亡

合計
二年八月

運輸技官勲八等横井信造儀十一月三十日死亡致候處同人は出身以來在官中常に職務ニ精勵シ勲勞不尠其ノ成績顯著ナル者ニ有之候條特ニ生前ノ日附ヲ以テ勲七等ニ敘シ瑞寶章ヲ賜リ度履歷書ヲ具シ及上奏候

昭和二十一年十二月二十四日

運輸大臣 平塚 常次郎



運輸技官勲八等 横井信造

右の者は大正六年三月二十八日國有鐵道に奉職大正十四年十二月十六日鐵道局技手に任官以來米子機關庫助手、新庄檢車所助役、山形運輸事務所運轉掛勤務、仙臺鐵道局運轉課客貨車掛勤務、長岡檢車區長、長野檢車區長、新潟鐵道局運轉部客貨車課勤務等と歷任して多年檢車事務に従事し卓抜なる經驗技能を有し之が知識を縱横に發揮し上下の信望厚く一般職員の模範たり。

功績により昭和十八年一月十五日勲八等に叙せらる。

其の間特に長野檢車區長として戰時中軍隊輸送の客車、軍需品、食糧、其の他重要物資輸送の貨車の修理、點檢等に又終戰後の混亂下に於ても雨雪、晝夜をとはず部下職員と一丸となつて重要職務を完遂したに於ても其の功績は顯著なものであつた。

世
錄
圖
書

[illegible]

圖是、是機劍車圖是、祿區熾並同戰轉陪容貨車歸噠絲卷、翻升了了
 戰轉畢登把戰轉堪噠絲、山臺熾並同戰轉陪容貨車堪噠絲、是岡劍車
 六日熾並同姓年、升官以來米千謝關軍也手、祿主劍車圖也野、山紙
 本の香切大五十六平三月二十八日國有熾並、奉輝大五十四平十二月十

蟹 鱗 蚶 目 鱸 八 等 鮓 花 計 蠶

国立公文書館
National Archives of Japan

履 歴 書

運輸技官 勲八等 横井信造

明治三十三年六月十二日生

瑞第一七四四一九號(假記)

族 籍

現住所 新潟鐵道局

年 號	月 日	任 免	賞 罰	等	資 格	在 職 年 數	通 算
大正六三	二八	試補機園夫	日給四五錢				
〃 七	一三	機園夫	命メ 米沢機園庫詰				
〃 九	四	雇メ 命メ 日給五錢	〃 給メ				
〃	〃	火天見習メ 命メ 米沢機園庫勤務					
〃 一〇	土	米沢機園庫助平	〃 命メ				
〃 四	土	大任鉄道局技平	給月俸七十五圓		判任		

重 録 通 告

新庄檢車所助役ヲ命ス
山形運輸事務所運轉掛勤務ヲ命ス
運轉課定貨車掛勤務ヲ命ス

0	八	四
八	三	四
九	五	一

一三三	十一	要園檢車已哀ヲ命ス
一五十一	一六給二級俸	
一六三	十一	長野檢車已哀ヲ命ス

十一等

一七十一
一
官制改正
鐵道官制

五敍勳、算授瑞寶章（定例）

官利改正 運輸通信有卜ル

二
一
三
五
運轉部客貨車課勤務命令

勅令百九三ノ及カ一九三ノヨリ
俸職按官三級百四十五円

三年十月半
二分一釐
一年十月

六
言
八
號
俸

七
一
繪
六
號
傳

履歷書

年
月
日生

族
籍

現住所

年	號
月	日
任	免
賞	罰
等	
資	格
在職年數	
通	
算	

二一士
三十
陞敘二級

二級

十九號俸下賜

平月

羊月

融亡

合計	一年十月半
----	-------

運輸通信省

一、運輸技官勳八等田邨賢治、敍勳について別紙上奏書を進達する

昭和二十一年十二月二十三日

運輸大臣 平塚 常次郎

內閣總理大臣 吉田 茂 殿

人貳第二五一七號

一運輸技官勳八等横井信造敘勳について

別紙上奏書を進達する

昭和二十一年十二月二十四日

運輸大臣 平塚 常次郎

内閣總理大臣 吉田 茂 殿

